

はじめに

地域とともに子どもを育む学校へ

枚方市では「地域全体で子どもを育てていこう!」という思いを込めて、教育委員会が各学校に学校運営協議会を設置しており、令和元年から3年の間に市立小学校全44校に設置されました。

学校運営協議会では、保護者や地域住民が校長先生や教頭先生と、教育活動や学校への必要な支援、子ども達の現状について話し合っ“地域とともにある学校づくり”を推進しており、学校運営協議会を設置している学校がコミュニティ・スクールとよばれています。

このお手紙では会議の内容から、保護者のみなさんが気になるようなことを厳選してご紹介します。

学校運営協議会ってなに？



みんなでつくるより良い教育環境

保護者や地域住民が連携・協力、参画し、その意向を学校運営に反映することでより良い学校教育を推進することを目的とした会です。

地域やPTA、学校、教育委員会からの推薦者が委員となり、校長先生・教頭先生と学校運営について話し合っています。

誰が委員をしているの？

今年度の委員紹介

学校運営協議会1号委員(コミュニティ推薦)

磯部 智子

学校運営協議会2号委員(PTA推薦)

中川 友加奈

仲 真由美

学校運営協議会3号委員(校長推薦)

中村 晴美津

学校運営協議会4号委員(教育委員会推薦)

森井 麗七

運営協議会の目的は？

“地域とともにある学校づくり”を推進すること

- ・子どもが抱く課題を地域ぐるみで解決する仕組みづくり
- ・学校運営の必要な支援について協議し、参画の促進や連携の強化を図る

学校運営協議会の役割は？

みんなで創る学校運営、地域の声を届ける仕組み

- 1.校長が毎年度作成した学校運営の基本方針を承認する
- 2.学校運営について、校長又は教育委員会に意見を述べる
- 3.教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べる
- 4.地域住民、保護者に対して、学校支援の情報提供、参加促進を行う

どんな話をしているの？

2025

学校運営協議会だより1

第一号では、学校運営協議会の紹介と、6月に開催された、第一回会議の内容をお伝えします。

令和7年11月吉日 五常小学校運営協議会

👉 令和7年度、五常小学校が目指す姿とは？

よく学び 思いやりのある行動をする たくましい子

👉 保護者に子どもたちの情報を提供

学びのエンゲージメントテストETを導入

学びのエンゲージメントテストETという検査を導入することにより、先生方は個々の子ども達の、「自ら学ぶ意欲」と「学習スキル」を把握することができ、保護者にも情報を共有することによって家庭でも学力向上に役立てることが出来る。

懇談がまた楽しみになりますね♪

👉 今年度のフラッグスさん



子どもたちのもうひとつの居場所

五常小学校内に教室以外の子どもたちの居場所を提供してくださっているフラッグスさん。

PC室を拠点として、毎週金曜日に学校内外で活動して下さっています。現在五常小の不登校は0人になっていますが、必要な時はいつでも待ってくださっています。

また、家庭科室での子ども食堂も月1～2回で開催中。(基本第3金曜日)

おしごとマルシェも近日開催予定です

👉 探求学習ってなに？

力強く生き抜くために・・・

五常小学校が行っている「探求学習」とは、変化の激しい社会において、必要な言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の育成、具体的には社会体験の機会を子どもたちに提供してくれています。

【応援歌の作成】

枚方出身のアーティスト「アンダーグラフ」と立候補してくれた児童とでオリジナルの五常小学校応援歌の作成を計画。

12月末までクラウドファンディングも募集しています！

https://motion-gallery.net/projects/hoop_hirakata！

みんなで100周年まで歌い継ぐ応援歌を盛り上げよう！！



👉 『わたしたちの学校安心ルール』の運用

ついに運用開始へ！

令和5年度の6年生から取り組んできた「学校安心ルール」がついに運用へ始動しています。

小学校での暴力行為が年々増加している昨今、みんなが明確にルールがわかり、かつ、それに伴う対応を一律化させるため、学校ルールを作成することに。

主権者教育を取り入れていた令和5,6年度、最高学年の6年生が協議を重ねて作成したルールです。

令和7年度の6年生によりブラッシュアップされ、今年度運用へ進められています。

一例として大阪市の学校ルールを拝見し、委員同士で意見交換をしました。何をしてはいけないのか、それをした場合、どういう経過をたどるのが一目瞭然で子どもたちにとって意味のあるルールになりそうです。



会議で話し合われた内容の中から、
まとめてお伝えします。
特に保護者の皆さんが知りたいと思うポイントを



えんぴつ、正しく持っていますか？

学校内正しく持てている児童は10%程度

えんぴつを正しく持てないと姿勢もわるくなり、疲れやすくなるため勉強に向かう時間も短くなってしまいます。ということにより、学校単位で対応に乗り出しているということです。

学校内での対応も限度があるため、家庭での指導も必要ということで、対応策について話し合いました。

音読を毎日しているので、それと共に鉛筆の持ち方のチェックをしてもらうという意見が好評でした。



人差し指と親指でつまむ



くるりと手に乗せる



親指、人差し指、中指で支える



PTAとは？

学校が考えるPTAの在り方

ひと昔からあるPTA・・・保護者の環境も変わり、加入も任意になった今、活動内容や形態にも様々なご意見を頂きます。

学校ではどう考えているのか伺いました。



「PTAという組織において、子どもは活動の支援を受ける立場です。PTA活動は、すべての児童が豊かな学校生活・地域生活を送ることができるように、保護者が自発的に行うものです。そのため、PTAに加入しているかどうかによって、子どもたちへの対応に差が生じることは、教育的な観点から望ましくありません。どの子も同じように大切にされることが、教育の基本にあります。また、PTAは「会員のためのサービス組織」ではなく、子どもたちを中心に保護者と学校が協力し合うための場です。そのため、活動やサポートの場で会員を優先することは、保護者間の分断を生むおそれがあり、PTA本来の趣旨とは異なります。」

PTAの活動は保護者から子どもへのボランティア。学校と一緒に子どもを支えるためには保護者の協力が必要だと改めて感じました。



委員からの報告

「図書」「トイレ掃除」「花壇」の三つのボランティアを統合

これまで個別に活動していたボランティアをひとつにまとめ、「五常小学校 学校びかボランティア」として活動していくことになりました。

「子どもたちが安心して、気持ちよく学校で過ごせるように」――

そんな想いを大切に、これからも保護者の皆さま・PTA・地域・学校と力を合わせて、活動を進めていきます。どうぞよろしくお願いします。

保健人権部会の今年度予定

活動資金の確保のためバザーを開催（五常市）

11/2(日) 教育委員会とのコラボ講演会開催予定

12/7(日) 五常小での子どもと保護者の講演会やイベント開催予定

会議で話し合われた内容の中から、特に保護者の皆さんが知りたいと思うポイントをまとめてお伝えします。



給食試食会を開催しました

保護者だけでなく子どもに関わるみんなで試食

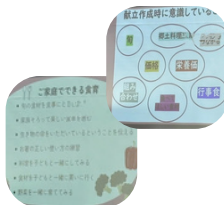
例年PTAによる保護者対象の試食会を、新たに子どもに関わる地域の方々や来年度小学校にあがる保護者を対象に開催致しました。

スマイルで毎日子どもたちを見守って下さっているボランティアの方や、登下校で安全を確保してくださっている地域の方々が参加して下さいました！

試食後は、給食に関しての意見交換や、学校や子どもに関して気になる事などをざっくばらんに話したりして世代間交流を楽しみました。



自分たちで配膳します



調理場長と栄養士さんからセンターと給食の説明を受けました



給食についてや子どもたちについてみんなで楽しく意見交換♪

意見交換会

給食や子どもについて話し合いました

給食について・・・薄味で優しい味。牛乳含め全部完食したらおなかいっぱいになる！栄養や色々考えられていてすごい！残菜があるのが残念だ。子どもたちに社会見学で調理場に行って欲しい。などの意見が出ました。

子どもたちについて・・・地域の方からは登下校中の行動や、最近は挨拶がしにくくなったといった意見も。保護者からはゲームのしすぎやスマホ問題や勉強についての意見が。あいさつについてはご時世柄誰にでもあいさつをなささいとは言えないが、知っている方には元気にあいさつをできるよう大人が背中を見せないと！といった内容をみんなで楽しくお話しました。

さいごに

給食って素晴らしい！

給食センターや栄養士さんに話を聞き、こんなにいろんなことを考えて子どもたちに給食を作って運んでくれているのだと、感動しました。

栄養はもちろん、飽きないように試行錯誤してくださっていて、子どもたちにも是非話して聞かせたいなと思いました。

その内、社会見学なども実現するとうれしいですね！

今回参加できなかった方々もまた次の機会に是非、お話を聞いて、おいしい給食を試食して頂きたいと思います。



会議で話し合われた内容の中から、特に保護者の皆さんが知りたいと思うポイントをまとめてお伝えします。